



# あゆみ

No. 167

令和 4年10月19日発行

編集 発行：社会福祉法人 啓明会 茶山寮・第二茶山寮

〒863-0006 熊本県天草市本町下河内 680

TEL 0969-22-5339・0969-22-1766 FAX 0969-22-5090

E-mail reizanryou@miracle.ocn.ne.jp・reizan2@muse.ocn.ne.jp

社会福祉法人啓明会ホームページURL <http://keimeikai.amakusa-web.jp/>

施設の旬の話題を「レイザンTOPIX」にて更新中です。



## 『個別支援計画について』

施設長 鮎田 一夫

この原稿の案を考えていた頃は日中半袖でも暑いくらいでしたが、書き始めた今日は長袖一枚では涼しいほどです。施設の周囲の彼岸花も見事に咲き誇り、そして咲き終わりました。季節は確実に進んでいます。十月は年度の折り返し地点です。施設では、四月から九月までの個別支援計画の実施状況を評価し、残り半期に向けての見直しを九月中に行います。十月からは見直した新しい個別支援に則っての支援を行っていくこととなります。個別支援計画は利用者お一人お一人のニーズに沿って立てられ、いわば支援の柱になるものです。計画の妥当性を担保するために立案するときも評価をするときも個別支援の会議が開かれます。それには利用者本人、サービス管理責任者、担当職員、相談支援員、医務、給食等が参加し、多角的な視点を反映できるようにしています。当然利用者お一人お一人の計画は違ったものになってくるのですが、茶山寮では六十名、第二茶山寮では三十名の利用者が一緒に生活しているわけですから、集団で活動する時間も当然出てきます。従ってその中において個別の計画をどう遂行していくかは難しい面もあります。個別支援と集団での日中活動の繋がりがある程度あった方が実現

しやすい計画になります。また、一日の内で利用者や担当職員の個別対応の時間を作ると、計画は遂行しやすくなります。日常業務が目白押しで支援員がその時間をどう作っていくかという工夫も必要になります。

茶山寮、第二茶山寮では昨年度から個別支援の見直しを行い、様式を新しくしました。同時に評価の際に支援員が書く文章量をいくつかの施設と比較してみました。茶山寮の文章量が圧倒的に多く、それを簡略化すれば支援員の負担も減ると考えたのですが、ある職員から、「この文章量を書くためには常から利用者と濃密に関わってないと書けません。これは職員が頑張った証なんです。」と言われました。またご家族へのアンケートの返事にも「評価の文章を読んでいると〇〇がどういふふうに住生活しているか、手に取るようにわかります。」と書かれていました。書くのは大変ですが、それだけに意味のあるものになっているのだと改めて気づかされました。というわけで様式は変わりましたが、文章量は相変わらずです。もちろん文章量だけでは善し悪しは決められません。今年度の評価を読んだり、計画を実行していく手段をより工夫したりしている職員が増えたと感じています。PDCAサイクルを自分のスキルとして取り込んでいる職員が増えたということでしょう。さらにそういう職員が増えていくように皆で切磋琢磨していきたいと思えます。

## サービスの現場より



『事務所より』

事務長 和田 茂樹

令和四年十月に改正された

法律の中に、年金制度改正法や育児・介護休業法、最低賃金法に伴う額の変更、道路交通法等、抑えておきたい改正点がいくつかありました。社会保険の適用拡大については、特定適用事業所の範囲拡大に伴い、被保険者数が常時百人を超える事業者(啓明会)において、短時間労働者の社会保険加入条件が変更されました。加入義務が拡大され、適用された労働者や事業者も社会保険料の負担増となりますが、年金や医療保険が変わる、働き方にも係わる改正となりました。

施設では日中活動やレクリエーションに、最も多いのが通院や事務での外出に、介護車等多くの車両を保有しています。四月の道路交通法の改正で、車両の保有台数が基準に達していたことから、安全運転管理者を新たに選任しました。また十月の改正では、運転前後に酒気を帯びていないか、目視等での確認と併せて、検知器を使ったアルコールチェック検査(一部延期)と記録の保存が義務化されましたので、安全運転管理者を中心に機器の選定や検査手順の周知、規程の整備を併せて進めてきました。今後とも「安全は一人ひとりの自覚から」を念頭に安全管理には努めてまいります。



『担当利用者への取り組み』

荅山寮支援主任

井立 眞実

私の担当のYさんは、天草生まれの六七歳、おっとりとした性格の女性です。私物整理と一緒にしようと押し入れの奥から昔の日記帳や写真がたくさん出てきて、昔話に花が咲きます。「そら、私の母ちゃん。正月帰った時だろ。」「そら兄ちゃんと旅行に行ったと。」と懐かしそうに笑みを浮かべながら話して下さいます。日記には帰省時のお母さんの手料理を待ちながら、お姉さんと準備をする様子などとても良く書かれています。心温まるものです。それが、数冊に渡り四、五ページで終わっているため、一つにまとめてみる事を提案すると「よかよ。」と得意な返事を頂き少しづつ一緒に作業をしているところです。

Yさんは、昔から読み書きが得意な方でしたが最近では読むことも書くことも少なくなってきました。これを機に日記を読み返される様子にメールを送っています。



『担当利用者への取り組み』

第二荅山寮支援員

若松 碧

私が担当させて頂いているKさんは食べる事が大好きな方です。四月に抜歯手術される前までは普通食を美味しくパクパクと食べておられました。抜歯手術後は思うように食べられなくなりました。それでも、たまに買ってくるアイスクリームを美味しく食べるのがとてもチャームで印象的です。

又、日中活動ではドライブを好まれ、車の後ろに乗り、静かに外を眺めていらつしやいます。車中では時折、歌を口ずさめることもあり、音楽を流すと満面の笑顔で手拍子をされて喜んでおられます。声掛けにも『にこ』と笑われ、手を頬に持って行きニコニコ笑顔がとても素敵なお方です。中々思うように身体を動かす事ができないKさんへご負担を掛けないために健康面、運動面については特に配慮し支援しています。今後も関わりを大切に、一緒に歌ったり運動等をしたりして、Kさんにとって楽しく穏やかな施設生活をして頂ける様支援していききたいと思います。

## 『事例研究発表を終えて』

第二苓山寮支援課長補佐 株野 勝



私が担当させて頂いているKさんと、一年間一緒に歩んだ足跡について発表したいと思います。Kさんは、とても気が優しい方ですが、焦燥感が強く、日常生活において精神的に不安定な日が多い方です。それは、時として他の利用者の方とのトラブルへと発展し、不穏状態が更に増す状況となっていました。そんなKさんに、心身共に安心して、笑顔の生活を送って頂けるよう今回の事例研究に取り組みました。

先ず、人のお手伝いや、外での作業を好まれるKさんの人格に着眼し、『出来る事・役割探し』から始めました。毎週実施している検討会議や、事例研究のメンバーでアイデアを出し合い、職員宅の空き缶回収や空き缶洗い、廊下のモップ掛け・チラシを利用するの箱作り等、チャレンジして貰った活動内容は、実に十数種類にも上ります。

次に意識した事は、前述の活動が、Kさんにとって、充実感を味わえるものとなっているか？笑顔に繋がっているか？という点です。活動内容によって、本人に不向きなものもありましたが、ある程度の活動(作業)は、上手くこなしておられました。中でも、特に本人が気に入って取り組んでおられたのが、空き缶回収と空き缶洗いです。月に一回の取り組みではありましたが、活動中は、終始笑顔が絶えない時間となりました。第二苓山寮の中で、自分だけが従事しているという特別感と、人の役に立っているという充実感、外作業を出来る喜びが、本人の表情を綻ばせる結果に繋がったと実感出来

ました。この事は、令和三年度のKさんの個別支援計画の目標でもあった、『笑顔の日を増やす』の達成にも繋がったと思います。

事例研究を通して色々な取り組みを行った事で、本人が心身共に落ち着いて過ごせる日が多くなり、結果として他者とのトラブルも減少傾向にあります。しかし、課題はまだ多くあります。余暇時間や活動開始前の時間は、本人にとって、落ち着かない時間である事も否めません。本人が落ち着いて過ごす事が出来る事探しを今後も試行しながら、少しでも多くの笑顔を導き出せるよう支援者として精進していきたいと思えます。



事例研究で決まった取り組みや支援内容は職員にも周知し、チームとして統一した支援を行っています。



回収した空き缶をきれいに洗い、分別されています。活動中は表情も良く、集中して取り組まれます。





# 祝敬老会

令和4年9月13日

## 【荅山寮：23名】

稲田キヨ子さん (83歳)	開田キミエさん (83歳)	岡部 亮一さん (85歳)
中村 英子さん (75歳)	西田 廣幸さん (75歳)	安谷 紀子さん (83歳)
堤 佳子さん (74歳)	赤星 信一さん (73歳)	新谷八重子さん (74歳)
祝原 光則さん (72歳)	婁 敬治さん (72歳)	小田 義隆さん (73歳)
福島千恵子さん (71歳)	栗原 節子さん (71歳)	今井 次男さん (71歳)
前田の婦子さん (69歳)	田中 忠信さん (67歳)	光井 正敏さん (69歳)
石川美恵子さん (67歳)	中村由佳里さん (67歳)	園田 幸子さん (68歳)
春日 勝也さん (66歳)	坂口美和子さん (67歳)	

## 【第二荅山寮：11名】

祝原 和則さん (73歳)	藤井 良雄さん (75歳)	柴田 勝則さん (78歳)
里 信之さん (69歳)	大久保實也さん (73歳)	古川 秋男さん (74歳)
吉田 実夫さん (66歳)	坂口 保代さん (69歳)	山本智夏子さん (67歳)
植村史津子さん (66歳)	堀切 雪吉さん (65歳)	

## 【GHつばさ：4名】

松本 良勝さん (76歳)	鬼塚 豊志さん (79歳)	嶽坂 安男さん (79歳)
村本 政春さん (76歳)		

## 【長寿のお祝いを受けられた方：10名】

伊津野 縫子さん (米 寿)	金子 順子さん (古 希)	島田 盛二さん (古 希)
浦本 昭男さん (傘 寿)	内古閑 元雄さん (古 希)	松本 隆さん (古 希)
山隈 孝也さん (喜 寿)	大塚 治代さん (古 希)	山口 忠明さん (古 希)
中村 勇 さん (古 希)		



# おめでとうございます

九月十三日、祝 敬老・長寿のお祝いの会を開催させていただきました。今年も、新型コロナウイルス感染症対策の為、苓山寮・第二苓山寮で別々に行いました。

今年は、写真と担当職員からのメッセージを付けた品物をプレゼントさせていただきました。写真を見て涙する方もおられ「ありがとう。」の声をいただき皆さんにとっても喜んでいただきました。出し物では苓山寮、真っ赤な太陽やフラダンス、マツケンサンバ等、皆で一緒に楽しむ事が出来、笑顔溢れるとても良い式となりました。第二苓山寮での出し物では「上を向いて歩こう。」の歌で手話を利用者さんと職員と皆で行い、笑いもあり、一体感のある温かい式となりました。今後も、コロナ禍ではありますが小さい事でも倍大きな楽しみに繋げていけるよう職員団結して頑張っていきたいと思えます。



【新利用者紹介】九月二一日

田邊 恭子さん (荅山寮)



入所後すぐに他の利用者さんとも仲良く話されており、時間がある時には編み物にも励まれています。これから一緒にたくさんさんの思い出を作っていくましよう。



【退所利用者】十月十三日

川島 千賀さん (荅山寮)

笑顔が素敵な川島さんでした。今後もお体に気を付けてお過ごし下さい。

【退職職員】九月三〇日

釜元 ユミさん (荅山寮)

支援員として約三年半利用者さんのサポートをして下さいました。今後のご活躍をお祈りしています。ありがとうございます。



【事業所紹介】

有 友ファミリーショップのうえ

ファミリーショップのうえ様は、地元本町に近くてはならないお店です。当施設から散歩がてらに歩いて行ける距離であり利用者の方にも馴染みの深いお店です。確かな目利きで仕入れられている野菜や果物、様々な食材、お菓子、ジュース、生活に必要な備品や文具もあります。社長はじめ奥様や従業員の皆様も施設のことを理解して下さいっており、利用者の方が買い物に行かれる時も優しく対応して下さいます。また給食食材もより良い物を納めて下さいます。価格高騰時は早めに教えて下さり、今お勧めの旬の野菜や果物を紹介して下さいます。給食費の節約に繋がっています。急な注文などにも迅速に臨機応変に対応して下さいます。これからも宜しくお願い致します。



利用者の風景

安谷 紀子さん



今年で八三歳を迎えられます。食べる事と歌う事が大好きで、特にコーヒーが大好きで、ご自身から「コーヒー」と元気な声で飲みたい意思も伝えて下さいます。先日、カラオケでは「小柳ルミ子のお久しぶりね」を歌われ、「もう一度、もう一度」とサビの所では特に大きくしっかりとした口調で歌って下さいました。童謡の歌詞も良く覚えておられ、好んで歌われます。今後も紀子さんの好まれる事を一緒に行っていききたいと思ひます。

植村 史津子さん

今年で六六歳になられます。年齢を感じさせない程、若々しく元気に毎日を過ごされて下さいます。毎朝、出勤する職員に大きな声で挨拶をして下さいます。職員の名前もよく覚えておられ、おかげで私達も一日のスタートを気持ちよく始めることが出来て下さいます。

また、カラオケが得意な史津子さん、十八番は藤あや子の「こころ酒」です。秋祭りでも、伸びやかな声で皆さんを魅了して下さいます。



行事予定

十月 二五日 荅秋祭 (荅山寮)  
二六日 " (第二荅山寮)



十一月 二日 インフルエンザ予防接種

九日 総合防災訓練

十六日 創立記念日

二二日 各種がん健診

十二月 七日 配置医来寮



編集後記

早くも十月となりましたが、十月を旧暦では神無月と言いますよね。由来としては、島根県の出雲大社に全国の神様が集まり、一年の事を話し合うため出雲大社以外には神様がいなくなることから「神なし月」「神無月」となった説が有名です。十月いっぱい島根県以外は全国的に神様がいないなってしまいうようです。一ヶ月間神様が不在だなんてちよつと心配ですよね。でもその心配はいらないようです。それは「留守神様」という留守番をする神様がいます。多くの神様が留守の間にもちゃんと留守神様が私達を守ってくれているみたいですよ。

さて今年度も折り返しとなり荅山寮、第二荅山寮では恒例の荅秋祭が開催されます。どんな催し物があるのか皆さん楽しみにされています。